

第1章 東日本大震災の概要

平成23年3月11日に発生した地震は、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0を記録し、激しい揺れとその後襲った巨大津波により、東北地方から関東地方の広範囲にわたり、沿岸部を中心に多数の死傷者や行方不明者を出し、各地に甚大な被害をもたらした。

被災地においては、道路、橋りょう、港湾、空港、電気、ガス、上下水道など市民生活に不可欠なライフラインが壊滅的な被害を受け、食料や燃料などの生活必需品や要員は不足し、大変厳しい生活を強いられた。

また、東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の漏えいによって、近隣住民は避難を余儀なくされたほか、農畜産物などの出荷制限や風評被害がおきるなど、事故発生から依然として収束の見通しは立っていない。

1. 地震の概要（気象庁発表）

●平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震

地震名	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日 14時46分
震央地名	三陸沖（北緯38度06.2分、東経142度51.6分）
震源の深さ	24 k m
規模	マグニチュード9.0
市内の震度	震度6強：宮城野区 震度6弱：青葉区、若林区、泉区 震度5強：太白区
津波	3月11日 14時49分 太平洋沿岸に大津波警報発表 3月12日 20時20分 大津波警報から津波警報へ切り替え 3月13日 7時30分 津波警報から津波注意報へ切り替え 3月13日 17時58分 津波注意報を解除 ※津波の高さ（仙台塩釜港（仙台港区））：7.2m（推定値）

●最大余震

発生日時	平成23年4月7日 23時32分
震央地名	宮城県沖（北緯38度12.2分、東経141度55.2分）
震源の深さ	66 k m
規模	マグニチュード7.2

市内の震度	震度6強：宮城野区 震度6弱：青葉区、若林区 震度5強：泉区 震度5弱：太白区
津波	4月7日 23時34分 宮城県に津波警報発表 4月8日 0時55分 津波警報解除

2. 仙台市の被害状況

(1) 人的被害（平成24年8月31日現在）

●死者

- ・市内で死亡が確認された方

891人（男性492人、女性399人）

（仙台市民以外の方92人、市内で発見された身元不明の2人のご遺体を含む）

- ・仙台市民の方

971人（男性538人、女性433人）（市外で死亡が確認された方174人を含む）

※いずれも、ライフラインが停止し肺炎などを発症して回復することなく亡くなるなど、震災に起因して亡くなられた災害関連死の認定を受けた方237人を含む。

※本市独自の集計のため、警察発表の数値と異なる場合がある。

※市内で死亡が確認された方のうち、ご遺体の発見場所の区分は以下のとおり（災害関連死の認定を受けた方を除く）。

青葉区1人、宮城野区305人、若林区338人、太白区8人、泉区2人（合計654人）

※行方不明者のうち死亡届の提出が確認された方については、宮城県の指導により死者数に含めないこととしている。

●行方不明者

30人（男性17人、女性13人）

（うち死亡届の提出が確認された方29人）

●負傷者

- ・重傷：276人（うち4月7日余震：6人、平成24年8月30日余震：1人）
- ・軽傷：1,995人（うち4月7日余震：65人、7月25日余震：2人、7月31日余震：1人、8月19日余震：1人、平成24年8月30日余震：1人）

(2) 建物被害（平成24年8月26日現在）

- ・全壊 29,912棟
- ・大規模半壊 26,828棟

- ・半壊 81,714棟
- ・一部損壊 115,803棟

(3) 宅地被害（平成24年5月31日現在）

5,080宅地

(4) 消防活動

●地震・津波に起因する災害出場件数（暫定値）

- ・火災 39件（うち4月7日余震：3件）
- ・救助 299件（うち4月7日余震：17件）
- ・救急 141件（うち4月7日余震：33件）
- ・ガス漏れ 113件（うち4月7日余震：52件）
- ・危険物漏えい 46件（うち4月7日余震：22件）
- ・自然災害（がけ崩れなど） 225件（うち4月7日余震：47件）

●救助活動状況

- ・生存者救助 899人
- ・避難誘導 3,931人

(5) ライフライン

電 気	停電138万戸（宮城県） ・仙台市内はおおむね5月10日復旧
都 市 ガ ス	全供給停止358,781戸 ・4月16日全面復旧（津波被災地などを除く）
水 道	断水約23万戸（断水人口約50万人、断水率約50%） ・3月29日全面復旧（津波被災地などを除く）
下 水 道	津波被害で機能停止、簡易処理にて対応 ・4月18日脱水汚泥処理開始
鉄 道	・東北新幹線4月29日全線運転再開 ・仙台空港アクセス線10月1日全線運転再開
仙 台 空 港	津波冠水 ・9月25日全面再開
仙 台 港	・6月5日フェリー全区間通常運航再開
市 営 バ ス	・3月12日主要幹線路線での運行再開 ・4月18日通常ダイヤでの運行に切り替え
地 下 鉄	・3月14日富沢・台原間運転再開 ・4月29日全線運転再開

(6) 避難所

●避難所

- ・避難者数：最大105,947人（3月12日11時30分時点）
- ・避難所数：最大 288カ所（3月14日8時00分時点）
- ・避難所閉鎖時期：7月31日（青葉区6月25日、宮城野区7月31日、若林区7月24日、太白区7月9日、泉区7月17日）

●福祉避難所

- ・避難者数：288人 最大：168人（3月24日・25日）
- ・施設数：40カ所（老人福祉センター4カ所、障害者福祉センター4カ所、介護保険施設32カ所）
- ・避難所開設期間：3月11日～10月6日

●被災者ショートステイ支援事業（1.5次避難支援事業）

- ・期間：6月29日～8月3日
- ・申込者総数：62組169人
- ・受入施設：秋保温泉7施設、作並温泉7施設

(7) 応急仮設住宅（平成24年3月9日現在）

- ・プレハブ仮設住宅：完成1,505戸、入居決定1,498戸
- ・借上げ公営住宅など：入居決定799戸
- ・借上げ民間賃貸住宅：入居決定8,603戸

(8) 市内被害額の概要（平成24年1月29日現在）

被害推計額：約1兆3,684億円

●市有施設関係：約3,270億円

- | | |
|------------------------|---------|
| ・水道、ガス、下水道などライフライン関係 | 1,680億円 |
| ・地下鉄、道路橋りょう、公園など都市基盤関係 | 1,270億円 |
| ・廃棄物処理施設など生活・衛生関係 | 20億円 |
| ・学校、市営住宅、庁舎など建築物関係 | 300億円 |

●その他公共施設：約1,452億円

- | | |
|----------------|-------|
| ・交通関係 | 259億円 |
| ・ライフライン・保健医療関係 | 32億円 |
| ・公共土木関係 | 267億円 |
| ・文教関係 | 875億円 |
| ・その他 | 19億円 |

●住宅・宅地：約6,086億円

●農林水産業関係：約729億円

- ・農地、農業用機械など 721億円
- ・漁業関係 8億円

●商工業関係：約2,147億円

※概数であるため、合計額は一致しない場合がある。

※これらは概算額の推計であり、今後精査が進むことなどにより大きく変動する可能性がある。

第2章 復旧・復興に向けた動き

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
平成23年 3月11日(金)	<p>○東日本大震災（東北地方太平洋沖地震 M9.0 最大震度7）発生【14時46分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市災害対策本部設置に伴い、事務局職員に3号非常配備発令。 ・議会棟の被害（本会議場の天井パネル及び議長席上部照明用アクリル板の落下（※8月まで使用不能）、3階廊下天井の破損、各階壁のひび割れ等） <p>○予算等審査特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11日目（正副委員長互選日含む）。企業会計の審査。池田友信委員、辻隆一委員、鈴木勇治委員の質疑終了後、14時46分休憩。 ・休憩後まもなく地震動が発生し、数分間にわたり激しい揺れが継続。その後も大規模な余震が連続し、会派控室等にも損傷が生じたため、全員が前庭駐車場に避難し、その後解散。 <p>○帰宅困難者の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難となった市民が市役所に避難しはじめ、16時頃には相当数となる。事務局が議長に状況を説明し、委員会室の開放を決定（第1～第7委員会室を順次開放。3月15日まで）。暖房停止のため、各室に石油ストーブを配置し、灯油の補給と食料配布を24時間体制で実施。 <p>○情報連絡体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長は3月14日夜まで議会棟に泊り込み。その後も終日議会での執務や泊り込みにより情報の把握と連絡、即応体制を確保。議会事務局も24時間体制で対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ○女川、福島第1など11基の原発が自動停止 ○仙台市災害対策本部設置、市職員に3号非常配備発令、消防局4次非常配備、消防団4次非常配備 ○「宮城県災害対策本部」設置、全市町村に災害救助法を適用 ○気象庁が宮城、岩手、福島などの太平洋沿岸に大津波警報発表 ○首相官邸内危機管理センターに官邸対策室設置 ○津波情報伝達システム作動 ○仙台消防ヘリ「けやき」により海岸部上空偵察および広報 ○警察庁が緊急災害警備本部を設置 ○津波の最大波が宮城、岩手、福島に到達 ○海上自衛隊横須賀基地に停泊中の全艦艇が宮城県沖へ出動 ○県へ緊急消防援助隊派遣要請 ○仙台消防ヘリ「仙台」により市内中心部上空偵察 ○県へ自衛隊派遣要請 ○東北6県で約466万戸が停電 ○気象庁が地震を「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」と命名 ○消防・自衛隊ヘリにより中野小学校、荒浜小学校への避難者を陸自霞目駐屯地等へ輸送開始 ○仙台市災害対策本部第1回本部員会議開催

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
<p>3月11日(金)</p>	<p data-bbox="496 226 807 255">仙台市議会としての動き</p>  <p data-bbox="344 730 962 759">野田議長から今後の対応について指示を受ける事務局</p>  <p data-bbox="344 1290 730 1319">事務局執務室の被害状況（1階）</p>  <p data-bbox="344 1850 730 1879">事務局執務室の被害状況（1階）</p>	<p data-bbox="1031 293 1299 322">～3/13 各日3回開催</p> <p data-bbox="1031 344 1378 374">3/14～3/18 各日2回開催</p> <p data-bbox="1031 396 1378 425">3/19～4/15 各日1回開催</p> <p data-bbox="1031 448 1433 524">以降、10/28までの間で、合計62回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1002 546 1433 622">○全閣僚出席の緊急災害対策本部会議 <li data-bbox="1002 645 1433 721">○津波により都市ガスが全面供給停止 <li data-bbox="1002 743 1433 878">○政府、原子力災害対策特別措置法に基づく初の「原子力緊急事態」を宣言 <li data-bbox="1002 900 1433 1034">○首相が福島第一原発から3km圏内の住民に避難指示、10km圏内の住民に屋内退避を指示 <li data-bbox="1002 1057 1433 1281">○外国人への相談対応等のため、仙台国際センターに「仙台市災害多言語支援センター」を設置。以降、3/16まで24時間体制で実施。4/30をもって終了 <li data-bbox="1002 1303 1433 1379">○県より、県内全市町村に災害救助法の適用について決定 <li data-bbox="1002 1402 1433 1581">○陸自、人命救助活動の開始。青葉、太白、泉区役所へ毛布配布、陸自ヘリによる中野小学校、荒浜小学校への毛布の投下 <li data-bbox="1002 1603 1433 1680">○本庁舎の避難者（約1,000人）へクラッカーと水配布 <li data-bbox="1002 1702 1433 1836">○(随時) 大都市災害時相互応援に関する協定に基づき各都市へ支援を要請 <li data-bbox="1002 1859 1433 1935">○(随時) その他、食料、燃料等物資について、各方面へ要請

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
<p>3月12日(土)</p>	<p>○市内の被害状況の確認及び議会棟の損傷状態の点検を行いながら、今後の議会対応について議長、事務局で検討。</p>  <p>議会棟正面玄関の表示が破損</p>  <p>東側玄関の壁面が崩落</p>  <p>廊下の壁面が崩落（2階）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○首相指示により福島第一原発周辺の避難指示区域を半径3km圏内から10km圏内に拡大 ○津波被害区域で消防職員・団員、自衛隊員による一斉人命検索活動を開始（消防団は6/11まで実施） ○被災建築物応急危険度判定開始（3/14判定士派遣について宮城県へ要請）期間：3/12～5/10まで 延べ判定士数：1,306人（他都市・民間判定士の応援対応） ○市営バス、主要幹線道路での運行再開 ○南蒲生浄化センターでBCP（事業継続計画）に基づき、旧放流ゲート（内法180cm×180cm）を約10cm開け、緊急放流ルートを確認。下水道の使用が可能となる ○全市立保育所および大部分の私立保育所が休所することなく継続開所 ○キリンビール仙台工場（宮城野区港）への避難者を陸自車両により仙台工業高校へ輸送完了 ○厚生労働大臣宛て災害対策基本法に基づく地方自治体保健師派遣あっせん・国職員派遣要請 ○障害者・高齢者・医療施設に食糧等必要物資の搬送開始（～4/8） ○緊急車両用燃料確保（2ヵ所） ○各庁舎燃料確保 ○避難所避難者数最大105,947人 ○避難所の危険度判定（初動調査として、避難所として安全に使用継続できるかを確認。～3/13）、

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
<p>3月12日(土)</p>	<p>会派控室の被害状況（3階）</p>  <p>会派控室の被害状況（3階）</p>  <p>会派控室の被害状況（3階）</p>  <p>南側通路の天井が崩壊（3階）</p>	<p>市営住宅パトロール開始、仮設住宅予定地の確認、土地の提供をUR都市機構、鉄道運輸機構へ検討依頼、UR住宅・民間住宅の提供について調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物資集結場所決定（同日16：45に変更） ○消防・陸自の重機により中野小学校までの道路を啓開。市バスで周辺の被災者を救出し、仙台工業高校へピストン輸送 ○中野小学校から荒浜小学校までの道路啓開活動に移り、県道塩釜亘理線を南下し、バス通行路を確保する作業に移行 → 同日22：40荒浜交差点まで啓開 ○気象庁が各地に発表していた大津波警報を、東北太平洋沿岸部を除き津波警報に切り替え ○急患センターが診療を一部再開（8/1から全面再開） ○首相官邸で与野党党首会談 ○福島第一原発（1号機）で水素爆発が発生、原子炉建屋大破 ○高砂中学校から岩切小学校へ約350人輸送したほか、仙台駐屯地（苦竹）から仙台工業高校、宮城野分院から東北公済病院へ避難者輸送 ○東六郷小学校から六郷小学校（245人）、JA六郷（200人）へ陸自トラックおよび消防団により輸送完了

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月12日(土)	 <p>議場の議長席上部照明用アクリル板が落下</p>  <p>議場の議長席上部照明用アクリル板が落下</p>  <p>消火栓の上部に深い亀裂（2階）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急消防援助隊 神奈川県隊（57隊）到着 ○市営住宅現場パトロールの結果、小松島第二（100戸）、鶴ヶ谷第二（20戸）、幸町高層棟（240戸）の3団地が使用不可。360住戸確保のため鶴ヶ谷第二の空き住戸500戸を活用、残分は応急仮設住宅等に充てることを検討するが、大半は風呂がなく、別途設置を検討 ○荒浜小学校240人の救助完了 ○（随時）中央卸売市場からバナナ、ミカン計20tを各区役所へ配達 ○避難所等に設置した仮設トイレのし尿収集開始 ○首相指示により福島第一原発周辺の避難指示区域を半径20km圏内に拡大 ○気象庁が東北太平洋沿岸部に最後まで発表していた大津波警報を津波警報に切り替え ○東北地方整備局、東北6県、仙台市、東日本高速道路（株）による災害時における覚書に基づき、国土交通省情報連絡員（リエゾン）が仙台市に派遣される

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月13日(日)	<p>○議長が市内の被災地を確認調査</p> <p>○各派代表者会議 (議会運営委員、予算等審査特別委員会正副委員長出席)</p> <p>①議会、当局が一丸となり、市民生活の早急な復旧を成し遂げていくため、議会として災害対応のための組織を立ち上げることとする。</p> <p>②市民生活の早急な回復を最優先とするため、会期延長はせず、当初からの3月15日で閉会することとする。</p> <p>③予算等審査特別委員会は、14日は開催せず、15日午前に開催し、審査を省略し、決定のみ行うこととする。</p> <p>④本会議では、決定の審査概要についての各委員長報告を行い、閉会することとする。</p> <p>⑤市議会としての組織の立ち上げについては、改めて協議することとする。</p>	<p>○気象庁が東北太平洋側の津波警報を注意報に切り替え。津波警報の発表地域なくなる</p> <p>○津波警報から注意報に変更になったことに伴い、避難勧告を解除</p> <p>○J X日鉱日石エネルギー(株) 仙台製油所火災に伴い、製油所(多賀城市)を中心に半径2 km内に避難指示(3/15 15:00解除)</p> <p>○消防職員・団員および緊急消防援助隊により、津波被害区域で人命検索活動を実施</p> <p>○陸海空統合部隊設置、自衛隊派遣10万人体制に</p> <p>○気象庁が東日本大震災のマグニチュード(M)を当初の8.8から9.0に修正</p> <p>○札幌市消防局にてJ X日鉱日石エネルギーの上空調査を実施し、今後の対応方針を検討</p> <p>○気象庁が北海道から九州にかけての太平洋側沿岸に出していた津波注意報を全面解除</p> <p>○菅首相が翌朝からの計画停電を発表</p> <p>○在日米軍の支援活動「トモダチ作戦」が開始される</p> <p>○緊急消防援助隊 島根県隊(18隊)到着</p> <p>○火災対応①東邦運輸倉庫(3/18 16:30鎮火)、②JFE 条鋼(株) 仙台製造所(3/21 11:40鎮火)</p> <p>○緊急消防援助隊 三重県隊(31隊)到着</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月14日(月)	<p>○停電や回線の途絶等により、電話、メール、FAXで連絡の取れない議員宅を事務局職員が直接訪問し、翌日以降の議会日程を連絡。</p>	<p>○地下鉄富沢駅－台原駅間運転再開。 泉中央駅－台原駅間はシャトルバス運行</p> <p>○避難所数最大288ヵ所となる</p> <p>○霞目駐屯地から遠見塚小学校、八軒中学校へ輸送、折立小学校から折立中学校へ避難者輸送</p> <p>○「こころのケアチーム」活動開始 (精神科医、保健師等で構成したチームが被災地の指定避難所を巡回)</p> <p>○他都市から派遣された保健師等による保健活動開始</p> <p>○折立五丁目(43宅地)を警戒区域に指定</p> <p>○葛岡工場稼働開始(3/19 全炉通常運転)</p> <p>○児童館73館が開館</p> <p>○政令市による管路1次調査開始 (3/14～4/25 12都市延べ1,630人)</p> <p>○東日本大震災の県内避難者数が最大(約32万人)に</p> <p>○東京電力が計画停電を開始、首都圏の交通が大混乱</p> <p>○福島第一原発(3号機)でも水素爆発が発生</p> <p>○東証日経平均株価の終値が1万円割れ</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月15日(火)	<p>○議会運営委員会</p> <p>①各派代表者会議で協議した内容について確認</p> <p>○予算等審査特別委員会</p> <p>①黙祷</p> <p>②決定の審査</p>  <p>特別委員会冒頭に犠牲者への黙祷を捧げた</p> <p>○本会議</p> <p>①市長からの被災状況報告</p> <p>②議案決定等</p> <p>提出議案等67件／可決66件</p> <p>請願1件／否決1件</p> <p>議長が決意表明を行い閉会</p>	<p>○市立学校・幼稚園の応急危険度判定を開始（学校等の再開に向けて校舎等の使用が可能か、改めて調査を実施。～3/24）</p> <p>○葛岡斎場火葬再開</p> <p>○玉石等の擁壁および宅地の崖崩れ・地割れ等の通報件数135件</p> <p>○宅地危険度判定の準備</p> <p>○家庭ごみ、し尿通常収集再開。被災ごみ仮置き場を市内5ヵ所（今泉運動場（3/15～3/26、4/18～5/10）、西花苑公園（3/15～4/22）、西中田公園（3/15～5/10）、鶴ヶ谷中央公園（3/15～3/23、4/23～5/10）、将監公園（3/15～5/10）に設置</p> <p>※後に日の出町公園（3/23～4/22）、ニッペリア（3/27～4/17）、中山台1号緑地（4/23～5/6）にも設置</p> <p>○「仙台市災害ダイヤル」設置→3/31まで問合せ延べ件数10,558件</p> <p>○消費生活相談、市役所本庁舎にて再開</p> <p>○東北電力が計画停電実施を発表</p>
3月16日(水)	<p>○各議員、会派は地域で被災者の支援、実情把握、行政への要望把握等の活動</p> <p>○議会の災害対応組織案の内部検討（3月18日まで）</p> <p>○仙台市議会・宮城県市議会議長会として政府や各政党に対して提出する「平成23年東北地方太平洋沖地震災害に対する緊急要望」に係る要望事項の取りまとめ及び日程調整等（3月24日まで）</p>	<p>○陸自車両により、各避難所へ支援物資輸送開始</p> <p>○緊急消防援助隊 熊本県隊（29隊）到着</p> <p>○大都市災害時相互応援に関する協定に基づき各都市へ物資援助を追加要請</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月17日(木)		<ul style="list-style-type: none"> ○南蒲生浄化センターの開閉不能となっていた緊急放流ゲートを破壊し、完全に放流機能を確保 ○今泉工場稼動開始（3/23全炉通常運転） ○仙台空港で物資輸送機の発着が可能に ○厚生労働省、食品に含まれる放射性物質の暫定基準を設定
3月18日(金)		<ul style="list-style-type: none"> ○統一地方選の延期法が成立 ○保安院、福島第一原発1～3号機に対する原子力施設事故の国際評価尺度（INES）を米スリーマイル島事故と同じ「レベル5」（広範囲な影響を伴う事故）とする暫定評価を発表
3月20日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○各派代表者会議 ①災害対応体制について、一日も早い復旧のため、「仙台市議会災害対策連絡会議」を設置することとする。 （議会としての対応策を協議するとともに、当局ができる限り災害対策に専念できるよう、国等への要望など必要な支援活動を行うもの。議長、副議長、交渉会派の代表者で構成。） ○第1回仙台市議会災害対策連絡会議 ①稲葉副市長、危機管理監、総務局長、財政局長からの説明 （被害状況、専決処分、補正予算等について） ②他都市市議会からの支援状況について 	<ul style="list-style-type: none"> ○陸自による避難所への給食（炊き出し）支援開始 ○津波被災地区におけるがれき撤去、行方不明者捜索及び流路確保のため、国土交通省より派遣された排水ポンプ車による排水作業の開始

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月21日(月)		<ul style="list-style-type: none"> ○ジャパンケネルクラブ救助犬（～24日まで）および建設業協会の重機によるがれき撤去などにより、宮城野・若林区の詳細な人命検索を開始 ○自衛隊からの給油開始（一部は17日から実施） ○首相、基準値を超える放射性物質が検出された農産物の出荷制限を指示
3月22日(火)		<ul style="list-style-type: none"> ○統一地方選の岩手県知事選、県議選（岩手、宮城、福島）、仙台市議選などが延期決定
3月23日(水)		<ul style="list-style-type: none"> ○都市ガスの供給を、仙台市立病院等の災害拠点病院を皮切りに順次再開 ○七郷中学校から若林体育館へ避難者輸送 ○内閣府、建物などの直接的な被害額が阪神・淡路大震災の約10兆円を大幅に上回る16兆～25兆円に上るとの試算を公表
3月24日(木)		<ul style="list-style-type: none"> ○東北自動車道全線の交通規制が全面解除

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月25日(金)	<p>○議会ホームページにおいて、東日本大震災に対する仙台市議会の取り組み状況の掲載を開始</p> <p>○「平成23年東北地方太平洋沖地震災害に対する緊急要望」の提出【仙台市議会・宮城県市議会議長会】</p> <p>東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部宮城現地対策本部（宮城県庁内）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）、渡辺公一副議長が、佐藤英雄白石市議会議長（宮城県市議会議長会副会長）とともに、阿久津幸彦内閣府大臣政務官、市村浩一郎国土交通省大臣政務官と面談し、要望書（資料編77ページ参照）を提出する。また、各派代表者の協力により、県連等を通じて同要望書を各政党に提出する。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣：菅直人内閣総理大臣 <p>②政党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主党：岡田克也幹事長 ・自由民主党：谷垣禎一総裁 ・公明党：井上義久幹事長 ・日本共産党：志位和夫中央委員会幹部会委員長 ・社民党：福島みずほ党首 	<p>○警視庁集計の震災死者数が1万人を超える</p>



月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月27日(日)		<ul style="list-style-type: none"> ○七郷小学校から若林体育館、七郷中学校から鶴巻へ避難者輸送 ○震災後初の5,000kl積み油輸送船が仙台塩釜港（塩釜港区）に入港 ○以後ガソリンなど油燃料の需給環境が次第に改善
3月28日(月)		<ul style="list-style-type: none"> ○市営バス、休日ダイヤでの運行を開始 ○宮城野区、若林区の避難所から秋保温泉へ入浴のため避難者輸送 ○プレハブ応急仮設住宅着工（あすと長町38街区） ○緑ヶ丘四丁目（105宅地）に避難勧告 ○南蒲生浄化センターにおいて、し尿の簡易処理開始 ○宮城県、震災によるがれき量が年間排出量の23年分に相当すると公表 ○J R仙石線が仙台市内の一部区間で運行再開
3月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○各派代表者会議 ①統一地方選挙期日の延期等について報告 ○第2回仙台市議会災害対策連絡会議 ①3月25日に実施した国等への緊急要望の報告 ②当局への個別会派別要望の取り扱いについて ○各派代表者との意見調整 ①監査委員条例の改正について （議会選出監査委員を2名から1名に改正） ②委員会条例の改正について （6常任委員会を5常任委員会に改正） 	<ul style="list-style-type: none"> ○水道が津波被災地等の一部地域を除き全面復旧 ○宮城県、震災被災車両は推計146,000台と公表

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月29日(火)	<p>③政務調査費条例の改正について (1円以上の領収書の添付等の改正をするもの) ※特例法による選挙期日の延期に伴い、①～③の各改正条例の施行日を、いずれも特例選挙期日(平成23年8月28日)とする。</p> <p>④平成23年第1回臨時会の運営について 震災対策関係補正予算・条例案について、全議員構成の特別委員会を設置し審査することとする。</p>	
3月30日(水)		○不明者捜索のため、がれき撤去開始
3月31日(木)	<p>○各派代表者・議会運営委員会合同会議 平成23年第1回臨時会の運営について</p> <p>①会期は、4月21日(木)、22日(金)の2日間とする。</p> <p>②災害対策関係の補正予算及び改正条例案は、本市における最優先事項であり、市政全般にわたることから、全議員で構成する特別委員会を設置し、審査を行うこととする。</p> <p>③特別委員会は22日に開催し、質疑及び決定の審査を行うこととする。</p> <p>④特別委員会終了後、本会議を開催し、特別委員長報告、討論、採決を行うこととする。</p> <p>⑤委員会名は、「東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会」とする。 ※後に「東日本大震災対策特別委員会」に改称</p>	○宮城県、震災被害額は2兆円以上と公表
4月1日(金)		<p>○仙台市震災復興基本方針決定</p> <p>○地下鉄黒松駅－台原駅間シャトルバス運行開始</p> <p>○り災証明申請受け付け開始(～12/28)</p> <p>○政府、震災の呼称を「東日本大震災」と決定</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
4月6日(水)	<p>○各派代表者との意見調整</p> <p>①監査委員条例、委員会条例及び政務調査費の交付に関する条例の一部改正条例について、施行日を特例選挙期日に改正することで一致する。</p> <p>②議員報酬の減額措置について 任期中は議員報酬の月額10万円の減額措置を実施することについて提案があり、協議する。</p> <p>③政務調査費の一定額不使用について 任期中は月額10万円を使用しないことを申し合わせることに提案があり、協議する。</p> <p>※政務調査費のすべての領収書の添付、閲覧にかかる部分については、平成23年4月1日から実施することについて提案があり、協議する。</p> <p>※臨時会における「東日本大震災対策特別委員会」の設置について協議する。</p>	<p>○宮城県沖の震源付近で海底が約24m移動し、約3m隆起する地殻変動があったと海上保安庁が発表</p>
4月7日(木)	<p>○宮城県沖を震源としたM7.2（震度6強）の最大余震発生【23時32分】</p> <div data-bbox="343 1384 962 1778" data-label="Image"> </div> <p>議場の大理石壁の一部が剥離し落下</p>	<p>○東北新幹線、盛岡～一関間運転再開</p> <p>○津波警報発表に伴い、津波情報伝達システム起動。津波危険区域に避難勧告発令（4/8津波警報解除）</p> <p>○仙台消防ヘリ「仙台」により海岸部上空偵察および広報</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
4月10日(日)	<p>○「平成23年東北地方太平洋沖地震災害に対する緊急要望」の提出【仙台市議会】</p> <p>仙台市議会（議長応接室）において、野田譲議長、渡辺公一副議長が、櫻井充財務副大臣と面談し、要望書（資料編78ページ参照）を提出する。</p> 	
4月11日(月)		<ul style="list-style-type: none"> ○市立学校が再開（4/22まで順次） ○市職員による避難所巡回相談を開始（～4/29） ○水道全面復旧 ○震災発生から1ヵ月のこの日、各地で犠牲者を悼む黙とうが捧げられた
4月14日(木)	<p>○各派代表者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「東日本大震災対策特別委員会」の設置について協議する。 ②第1回臨時会の招集について協議する。 ③監査委員条例、委員会条例及び政務調査費の交付に関する条例の一部改正条例の施行期日を特例選挙期日に改める条例（案）に署名し、第1回臨時会に提出する。 ④議員報酬の減額について、議長15万円、副議長13万円、議員10万円の減額措置について確認、署名し、第1回臨時会に提出する。 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
4月16日(土)		○都市ガスが津波被災地等の一部地域を除き全面復旧
4月20日(水)	○第3回仙台市議会災害対策連絡会議 ①会派別要望について、災害に関する情報を収集整理し、市災害対策本部に提供するものとし、前回の会議において、窓口を一元化し整理の上、要望するものとしたことを確認する。	
4月21日(木) ～22日(金)	○平成23年第1回臨時会 ①議員提出議案（政務調査費条例及び監査委員条例の一部改正条例の施行期日の改正、議員報酬月額削減に伴う条例改正） ②当局提出議案（災害関連補正予算、事務分掌条例改正（復興本部設置）、その他市長等の給料月額減額、震災廃棄物処理の特例、都市公園へのごみ処理施設設置等に伴う関連条例の改正、専決処分報告等） ③政務調査費条例及び監査委員条例は即決、他は「東日本大震災対策特別委員会」を設置し、付託委員長に佐々木両道議員、副委員長に斎藤建雄議員を選出 ④委員会条例の一部改正条例を可決 提出議案等17件／可決17件	○住宅の応急修理の申込受付開始
4月22日(金)	○第1回東日本大震災対策特別委員会 付託議案審査 決議「東日本大震災からの復興に関する件」（資料編69ページ参照）を全会一致で可決	○宅地内のがれき等の撤去を開始 ○「宮城県震災復興本部」設置 ○福島第一原発20km圏内が警戒区域に指定、検問を行うなど立ち入りを厳しく禁止
4月29日(金)		○地下鉄、全線運転再開 ○東北新幹線が全線復旧

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
4月30日(土)	<p>○「東日本大震災に関する緊急要望」の提出【宮城県市議会議長会】</p> <p>仙台市議会（議長応接室）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）、渡辺公一副議長が、宮城県内の市議会議長とともに、小野寺五典自由民主党宮城県支部連合会会長と面談し、要望書を提出する。</p> 	<p>○プレハブ応急仮設住宅入居開始（あすと長町）</p>
5月1日(日)		<p>○震災復興本部設置</p>
5月2日(月)	<p>○各派代表者との意見調整</p> <p>①東日本大震災対策特別委員会の今後の運営について</p>	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月6日(金)	<p>○「東日本大震災に関する緊急要望」の提出【宮城県市議会議長会】</p> <p>宮城県議会（議長応接室）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）が、横路孝弘衆議院議長と面談し、要望書を提出する。</p> 	
5月10日(火)	<p>○各派代表者との意見調整</p> <p>①特例選挙期日までの議会内人事について、現行の体制を維持することで合意する。</p> <p>○第2回東日本大震災対策特別委員会</p> <p>①当局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度予算の執行停止状況について ・被災した主な市民利用施設の状況について <p>②委員会の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事制度について ・分科会の設置について ・分科会活動について（5月16日～19日） 	<p>○宮城県広域消防応援基本計画に基づく石巻地区への応援出場（～5/31まで救助隊・救急隊延べ63隊・168人）</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月16日(月)	<p>○東日本大震災対策特別委員会第一分科会</p> <p>分科会による現地調査及び協議を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事項：教育、福祉、文化、ライフライン等 ・現地調査：仙台市シルバーセンター、西多賀小学校、仙台市体育館  <p>現地調査：西多賀小学校</p>	
5月17日(火)	<p>○東日本大震災対策特別委員会第二分科会</p> <p>分科会による現地調査及び協議を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事項：仮設住宅、がれき、避難所等 ・現地調査：応急仮設住宅、がれき搬入場  <p>現地調査：応急仮設住宅（あすと長町地区）</p>	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月18日(水)	<p>○東日本大震災対策特別委員会第三分科会</p> <p>分科会による現地調査及び協議を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事項：経済関連の復興 ・現地調査：農業園芸センター、東部農地、JFE 条鋼仙台製造所、食肉市場 <div data-bbox="344 604 962 996" data-label="Image"> </div> <p>現地調査：食肉市場</p>	
5月19日(木)	<p>○東日本大震災対策特別委員会第四分科会</p> <p>分科会による現地調査及び協議を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事項：宅地・地盤沈下対策事業 ・現地調査：折立、西花苑、高野原地区 <div data-bbox="344 1496 962 1888" data-label="Image"> </div> <p>現地調査：折立地区</p>	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月20日(金)	<p>○第4回仙台市議会災害対策連絡会議</p> <p>①震災復興ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当局からの説明（稲葉副市長） <p>②東日本大震災からの復旧・復興に係る緊急要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月30日（月）に実施する予定とし、持ち帰り検討とする。 <p>○各派代表者との意見調整</p> <p>①現行の調査特別委員会の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会報告を第1回定例会において実施しており、存続するか否か協議する。 <p>②東日本大震災対策特別委員会のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回定例会以後の特別委員会のあり方について、各会派の考え方を確認する。 <p>③クールビズの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力不足対応のため、本会議場でもノーネクタイとすることで一致する。 	
5月23日(月)	<p>○第3回東日本大震災対策特別委員会</p> <p>①当局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した市民利用施設の状況について（震災復興本部次長兼震災復興室長） <p>②分科会活動を踏まえた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災対策等について12名の委員が発言する。 	<p>○損壊家屋等の解除・撤去の受付開始（6/10から解体・撤去工事に着手）</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月27日(金)	<p>○第5回災害対策連絡会議</p> <p>①東日本大震災からの復旧・復興に係る緊急要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急要望修正案に基づき協議し、全会派が合意する。 ・5月30日(月)に要望行動を実施する。 <p>○各派代表者との意見調整</p> <p>①本会議場において上着の着用をしないことを可とする。</p> <p>②調査特別委員会について、任期満了まで現行の調査特別委員会を存続させることとする。</p> <p>③特別委員会のあり方、議案付託等について協議する。</p>	
5月30日(月)	<p>○「東日本大震災からの復旧・復興に係る緊急要望」の提出【仙台市議会】</p> <p>東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部宮城現地対策本部(宮城県庁内)において、野田譲議長、渡辺公一副議長及び各派代表者が、阿久津幸彦内閣府大臣政務官と面談し、要望書(資料編79ページ参照)を提出する。</p> <p><要望先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣：菅直人内閣総理大臣 	<p>○仙台市震災復興ビジョン策定</p> <p>○東北太平洋岸で大雨と強風の被害</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月31日(火)	<p>○「東日本大震災及び福島第一原発事故に関する要望」の提出【東北市議会議長会】</p> <p>省庁、衆議院議員会館、参議院議員会館（東京都）において、野田譲議長（東北市議会議長会会長）が、東北市議会議長会の役員とともに、政府の政務三役及び民主党の国会議員と面談し、要望書（資料編82ページ参照）を提出する。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府：園田康博内閣府大臣政務官 ・総務省：鈴木克昌総務副大臣 ・財務省：櫻井充財務副大臣 ・文部科学省：笹木竜三文部科学副大臣 ・厚生労働省：細川律夫厚生労働大臣、 岡本充功厚生労働大臣政務官 ・農林水産省：鹿野道彦農林水産大臣 ・経済産業省：中山義活経済産業大臣政務官 ・国土交通省：大畠章宏国土交通大臣、 三井辨雄国土交通副大臣 <p>②民主党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県総支部連合会代表：横山北斗衆議院議員 ・岩手県総支部連合会代表：小沢一郎衆議院議員 ・宮城県総支部連合会代表：今野東参議院議員 ・秋田県総支部連合会代表：松浦大悟参議院議員 ・山形県総支部連合会代表：和嶋未希衆議院議員 ・福島県総支部連合会代表：吉田泉衆議院議員 ・鳩山由紀夫衆議院議員 ・安住淳衆議院議員 	<p>○復興公営住宅整備方針を表明</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月1日(水)	<p>○市議会だより「震災対策特別号」の発行</p> <p>○第4回東日本大震災対策特別委員会</p> <p>①市長説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市震災復興ビジョンについて <p>②協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10名の委員が発言する。 	<p>○宮城県漁協が操業自粛を解除</p>
6月3日(金)	<p>○「東日本大震災に関する緊急要望」の提出【仙台市議会】</p> <p>省庁、衆議院議員会館、参議院議員会館（東京都）において、野田譲議長が奥山市長とともに、政府の政務三役及び宮城県関係の国会議員と面談し、要望書（資料編86ページ参照）を提出する。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房：仙谷由人内閣官房副長官 ・内閣府：松本龍内閣府防災担当大臣 ・総務省：片山善博総務大臣 ・財務省：櫻井充財務副大臣 ・農林水産省：鹿野道彦農林水産大臣 ・国土交通省：大畠章宏国土交通大臣 <p>②宮城県関係国会議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡和子衆議院議員 ・斎藤恭紀衆議院議員 ・橋本清仁衆議院議員 ・石山敬貴衆議院議員 ・安住淳衆議院議員 ・小野寺五典衆議院議員 ・秋葉賢也衆議院議員 ・井上義久衆議院議員 ・愛知治郎参議院議員 ・岡崎トミ子参議院議員 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷大参議院議員 ・今野東参議院議員 ・渡辺孝男参議院議員 ・高階恵美子参議院議員 	
6月8日(水)	<p>○宮城県市長会・市議会議長会 行政懇談会【宮城県市議会議長会】※共催：宮城県市長会</p> <p style="padding-left: 2em;">ホテルニューオータニ（東京都）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）が、宮城県内の市議会議長・市長とともに、宮城県関係の国会議員と震災からの復旧・復興に関する意見交換を行う。</p> <p><出席者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡和子衆議院議員 ・斎藤恭紀衆議院議員 ・橋本清仁衆議院議員 ・石山敬貴衆議院議員 ・安住淳衆議院議員 ・小野寺五典衆議院議員 ・秋葉賢也衆議院議員 ・井上義久衆議院議員 ・愛知治郎参議院議員 ・岡崎トミ子参議院議員 ・櫻井充参議院議員 ・熊谷大参議院議員 ・今野東参議院議員 ・渡辺孝男参議院議員 ・高階恵美子参議院議員 <p>○「東日本大震災に関する緊急要望」の提出【宮城県市議会議長会】</p> <p style="padding-left: 2em;">省庁、参議院議員会館（東京都）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）が、宮城県内の市議会議長とともに、政府の政務三役と面談し、要望書を提出する。</p>	<p>○全ての市立学校、保育所、幼稚園、児童館（被災した施設を除く）および公園等、約750ヵ所を対象とし、簡易型放射線測定器による空間放射線モニタリング等を開始</p> <p>○福祉仮設住宅着工（あすと長町26街区）</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月8日(水)	<p><要望先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府：松本龍内閣府防災担当大臣 ・総務省：片山善博総務大臣 ・財務省：櫻井充財務副大臣 ・文部科学省：林久美子文部科学大臣政務官 ・農林水産省：鹿野道彦農林水産大臣 ・経済産業省：松下忠洋経済産業副大臣 ・環境省：樋高剛環境大臣政務官 <p>○「東日本大震災に関する緊急要望」の提出【仙台市議会】</p> <p>自由民主党本部（東京都）において、野田譲議長が奥山市長とともに、自由民主党の谷垣禎一総裁、大島理森副総裁と面談し、要望書を提出する。</p>	
6月13日(月) ～28日(火)	<p>○平成23年第2回定例会 提出議案17件／可決17件</p>	
6月15日(水)		<p>○プレハブ応急仮設住宅全戸完成</p>
6月20日(月)		<p>○地下鉄東西線建設工事を順次再開（9/1には全工区で再開）</p> <p>○「東日本大震災復興基本法」成立</p>
6月24日(金)、 27日(月)	<p>○第5回東日本大震災対策特別委員会</p> <p>①付託議案の審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付託議案8件について一括質疑を行う。 	<p>○「東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部」設置</p>
6月25日(土)		<p>○青葉区の避難所閉鎖</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月27日(月)	<p>○東日本大震災に係る県・市・町村議会要請活動【宮城県市議会議長会】※共催：宮城県議会、宮城県町村議長会</p> <p>1 意見交換</p> <p>衆議院議員会館（東京都）において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）が、宮城県内の県・市・町村議会の正副議長等とともに、政府の政務三役及び宮城県関係の国会議員と震災からの復旧・復興に関する意見交換を行う。</p> <p><出席者></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府：末松義規内閣府副大臣 ・財務省：櫻井充財務副大臣 ・農林水産省：筒井信隆農林水産副大臣 ・国土交通省：池口修次国土交通副大臣、 津川祥吾国土交通大臣政務官 <p>②宮城県関係国会議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡和子衆議院議員 ・斎藤恭紀衆議院議員 ・橋本清仁衆議院議員 ・石山敬貴衆議院議員 ・安住淳衆議院議員 ・小野寺五典衆議院議員 ・秋葉賢也衆議院議員 ・井上義久衆議院議員 ・高橋千鶴子衆議院議員 ・吉泉秀男衆議院議員 ・愛知治郎参議院議員 ・岡崎トミ子参議院議員 ・熊谷大参議院議員 ・今野東参議院議員 ・渡辺孝男参議院議員 ・高階恵美子参議院議員 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月27日(月)	<p>2 「東日本大震災に関する要請書」の提出 意見交換終了後、グループに分かれ、政府の政務三役、経済団体等の幹部と面談し、要請書を提出する。</p> <p><要請先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房：枝野幸男内閣官房長官 ・総務省：鈴木克昌総務副大臣 ・財務省：尾立源幸財務大臣政務官 ・文部科学省：鈴木寛文部科学副大臣 ・厚生労働省：細川律夫厚生労働大臣 ・経済産業省：中山義活経済産業大臣政務官 ・環境省：樋高剛環境大臣政務官 <p>②経済団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済団体連合会：中村芳夫副会長兼事務総長 ・経済同友会：伊藤清彦常務理事 ・J R東日本：大口豊経営企画部次長 	
6月28日(火)	<p>○第2回定例会最終日の本会議において、「東日本大震災復興会議」の設置を議決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市議会災害対策連絡会議と東日本大震災対策特別委員会を統合再編し、設置する。 (正副議長、各交渉会派の代表者及び各常任委員会の委員長で構成。) <p>○第1回東日本大震災復興会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の運営について 	
7月9日(土)		○太白区の避難所閉鎖
7月11日(月)		○「東日本大震災仙台市慰霊祭」開催（仙台国際センター）

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
7月13日(水)	<p>○第2回東日本大震災復興会議</p> <p>①当局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市震災復興検討会議の設置について ・東日本大震災に関する重点要望について <p>②震災復興への今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会の開催日程等について 	<p>○「仙台市震災復興検討会議」設置</p>
7月16日(土)		<p>○「東北六魂祭」開催（～7/17）</p> <p>○泉区の避難所閉鎖</p>
7月21日(木)	<p>○第3回東日本大震災復興会議</p> <p>①当局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災に関する緊急要望について ・東日本大震災に関する重点要望について <p>②全体会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国への要望事項及び震災復興に係る各常任委員会の審査状況の報告のため、8月3日の全体会の開催を決定する。 	
7月24日(日)		<p>○若林区の避難所閉鎖</p>
7月29日(金)		<p>○国の「東日本大震災からの復興の基本方針」決定</p>
7月31日(日)		<p>○宮城野区の避難所が閉鎖。これにより、全避難所が閉鎖</p> <p>○宅地周りがれき撤去完了</p>
8月1日(月)		<p>○東日本大震災に係る災害派遣自衛隊感謝式（勾当台公園市民広場）</p> <p>○仙台産野菜の放射性物質の独自検査を開始。また食肉市場で牛肉の全頭検査を開始</p> <p>○自衛隊が県内での復興支援活動を終えて撤収</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
8月2日(火)	<p>○県内経済団体等への県・市・町村議会要請活動【宮城県市議会議長会】※共催：宮城県議会、宮城県町村議長会</p> <p>仙台商工会議所会館、東日本旅客鉄道(株)仙台支店等において、野田譲議長（宮城県市議会議長会会長）、渡辺公一副議長が、名取市（宮城県市議会議長会副会長）の正副議長、宮城県議会の正副議長等、宮城県町村議会議長会の代表とともに、宮城県内の経済団体等の幹部と面談し、要請書を提出する。</p> <p><要請先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)東北経済連合会：高橋宏明会長 ・宮城県商工会議所連合会：鎌田宏会長 ・仙台経済同友会：大山健太郎代表幹事、 一力雅彦代表幹事 ・(株)宮城県経営者協会：高橋宏明会長 ・宮城県中小企業家同友会：佐藤元一代表理事、 鍋島孝敏代表理事、 五十嵐弘人代表理事 ・東日本旅客鉄道(株)仙台支店：相澤義博企画部長 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
8月3日(水)	<p>○第4回東日本大震災復興会議</p> <p>①当局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「東日本大震災からの復興の基本方針」について ・「仙台市の災害復旧・復興に係る想定事業費」について <p>②常任委員会委員長報告</p> <p>③東日本大震災からの復旧・復興に係る重点要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大震災以降の議会としての取り組みについて議長から報告する。 ・国の第3次補正予算の編成にあたっての、議会としての迅速な支援措置を求める重点要望について決定する。 	
8月5日(金)	<p>○「東日本大震災からの復旧・復興に係る重点要望」の提出【仙台市議会】</p> <p>東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部（宮城県庁内）、宮城県議会等において、野田譲議長、渡辺公一副議長及び各派代表者が、末松義規内閣府副大臣と面談し、要望書（資料編89ページ参照）を提出するとともに、畠山和純宮城県議会議長、若生正博宮城県副知事と面談し、協力要請を行う。また、各派代表者を通じて各政党に同要望書を提出する。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣：菅直人内閣総理大臣 <p>②政党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主党：岡田克也幹事長 ・自由民主党：谷垣禎一総裁 ・公明党：井上義久幹事長 ・日本共産党：志位和夫中央委員会幹部会委員長 ・社民党：福島みずほ党首 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
8月6日(土)		○応急仮設住宅（借上げ民間賃貸住宅）入居者（津波浸水区域居住者）を対象に市職員による戸別訪問調査を実施（～8/12） ○「仙台七夕まつり」が震災後初開催（～8/8）
8月28日(日)		○延期されていた仙台市議会議員選挙が執行
9月8日(木) ～9日(金)	○平成23年第2回臨時会 議長に佐藤正昭議員、副議長に木村勝好議員を選出 提出議案1件／可決1件 	
9月16日(金)	○各派代表者会議 ①復興計画を議決事件とすることについて協議する。	
9月21日(水) ～10月24日 (月)	○平成23年第3回定例会 提出議案等32件／可決31件 請願1件／否決1件	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
9月26日(月)	<p>○宮城現地対策本部、民主党、自由民主党への要望活動【仙台市議会】</p> <p>東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部（仙台第2合同庁舎内）、衆議院本館、自由民主党本部（東京都）において、佐藤正昭議長、木村勝好副議長が、宮城現地対策本部の本部長、民主党及び自由民主党の幹部と面談し、東日本大震災被害者の安全な住まいの再建に関する要望を行う。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城現地対策本部：郡和子本部長 <p>②民主党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事長代行：樽床伸二衆議院議員 ・総括副幹事長：樋高剛衆議院議員 ・副幹事長：大島九州男参議院議員 ・米長晴信参議院議員 <p>③自由民主党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政務調査会長：石破茂衆議院議員 	
10月3日(月)	<p>○各派代表者会議</p> <p>①東日本大震災からの復興に係る計画を議会の議決事件として定める条例について協議する。</p> <p>②震災復興推進特別委員会の設置について協議する。</p>	



月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
10月4日(火) ～12日(水)	○震災復興推進特別委員会 第3回定例会の本会議において、全議員構成として設置する。 ①正副委員長互選 ・委員長に赤間次彦議員、副委員長に渡辺公一議員を選出 ②付託議案審査 ・震災復興に関する議案を審査	
10月12日(水)	○第3回定例会中に、「東日本大震災からの復興に係る計画を議会の議決事件として定める条例」(資料編102ページ参照)を全会一致で可決	
11月28日(月) ～30日(水)	○平成23年第3回臨時会 提出議案1件／可決1件	
11月29日(火)	○震災復興推進特別委員会 ①付託議案審査 ・仙台市震災復興計画に関する件を審査する。	○液化天然ガス(LNG)からの都市ガス製造に向け、LNG船アマモン・センダイが震災後初入港
11月30日(水)		○「仙台市震災復興計画」策定 ○被災者生活再建支援金(基礎支援金)の申請期限1年延長
12月1日(木) ～16日(金)	○平成23年第4回定例会 提出議案等36件／可決35件 請願1件／否決1件	
12月14日(水) ～15日(木)	○震災復興推進特別委員会 ①付託議案審査 ・震災復興に関する議案を審査する。	
12月15日(木)	○各派代表者会議 ①本市の本格的な復興に向けての特別決議について協議する。	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
12月15日(木)	<p>○「東日本大震災からの復旧・復興に関する要望」の提出【全国市議会議長会】</p> <p>首相官邸、衆議院本館、衆議院議員会館、省庁、自由民主党本部（東京都）において、佐藤正昭議長が、全国市議会議長会の関谷博会長、東北市議会議長会の役員等とともに、政府の政務三役及び与党の幹部と面談し、要望書を提出する。</p> <p><要望先></p> <p>①政府</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府：平野達男東日本大震災復興担当大臣、末松義規総理大臣補佐官 ・総務省：福田昭夫総務大臣政務官 ・経済産業省：北神圭朗経済産業大臣政務官 ・環境省：高山智司環境大臣政務官 <p>②政党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主党：鈴木克昌筆頭副幹事長、池口修次企業団体対策委員長 ・自由民主党：谷垣禎一総裁、大島理森副総裁 ・公明党：井上義久幹事長 	
12月16日(金)	<p>○第4回定例会最終日に、決議「東日本大震災からの本格的な復興に向けての特別決議」（資料編70ページ参照）を全会一致で可決</p>	
12月28日(水)		<p>○がれき撤去完了（農地）</p>

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
平成24年 1月6日(金)	○平成24年年頭メッセージを河北新報朝刊に掲載	
1月31日(火)		○復興交付金事業計画（第1次）を復興庁に提出
2月9日(木)		○民間投資促進特区（ものづくり産業）の国からの認定
2月10日(金)		○「復興庁」設置。県に「復興局」、気仙沼市・石巻市に「支所」を設置
2月16日(木) ～3月16日(金)	○平成24年第1回定例会 提出議案等101件／可決101件	
3月2日(金)		○復興交付金事業計画（第1次）の交付可能額の復興庁からの通知 ○農と食のフロンティア推進特区の国からの認定
3月7日(水)	○復興庁への要望行動【仙台市議会】 復興庁（東京都）において、佐藤正昭議長が、宮城県議会議長等とともに、復興庁の平野達男復興大臣、末松義規復興副大臣と面談し、復興交付金、被災家屋等の解体撤去申請期間の延長等に関する要望を行う。 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
3月8日(木)		○国から仙台市に対し、「被災家屋等の解体撤去に係る緊急性の判断は、各被災自治体に委ねる」旨の連絡
3月9日(金)		○参議院決算委員会において、平野復興大臣が「被災家屋の解体撤去の申請は、翌年度も可能であり、被災自治体と被災者が協議してその方向性を決めればよい」旨を答弁
3月11日(日)		○「東日本大震災仙台市追悼式」開催（仙台国際センター）
3月16日(金)	○意見書「復興交付金制度の弾力的かつ積極的な運用を求める件」（資料編71ページ参照）を可決（内閣総理大臣等あて）	
3月28日(水)	○「復興交付金制度の弾力的かつ積極的な運用を求める件」の意見書提出【仙台市議会】 復興庁（東京都）において、佐藤正昭議長、木村勝好副議長及び各派の代表者が、復興庁の平野達男復興大臣、末松義規復興副大臣と面談し、復興交付金制度に関する意見書を提出する。	
4月4日(水)		○復興交付金事業計画（第2次）を復興庁に提出
4月18日(水)	○震災復興対策に関する要請活動【宮城県市議会議長会】※共催：宮城県議会、宮城県町村議長会 復興庁、衆議院本館、衆議院議員会館、参議院議員会館（東京都）において、佐藤正昭議長（宮城県市議会議長会会長）が、宮城県内の市議会議長、宮城県議会の正副議長等、宮城県町村議会議長会の代表とともに、復興庁、民主党、宮城県関係国会議員に要請書（資料編92ページ参照）を提出する。	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
4月18日(水)	<p><要請先></p> <p>①復興庁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野達男復興大臣 ・郡和子復興大臣政務官 <p>②民主党</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事長代行：樽床伸二衆議院議員 ・総括副幹事長：阿久津幸彦衆議院議員 ・副幹事長：橋本清仁衆議院議員 ・宮城県総支部連合会代表：今野東参議院議員 <p>③宮城県関係国会議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野寺五典衆議院議員 ・櫻井充参議院議員 	
4月20日(金)、 25日(水)	<p>○東日本大震災復興会議</p> <p>①当局からの報告及び質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営に係る検討状況等について 	
5月24日(木)	<p>○細野豪志環境大臣との意見交換【宮城県市議会議長会】</p> <p>環境省（東京都）において、佐藤正昭議長（宮城県市議会議長会会長）が、宮城県内の市議会議長とともに、細野豪志環境大臣と面談し、震災からの復旧・復興に関する意見交換を行う。</p> 	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
5月25日(金)		○復興交付金事業計画（第2次）の 交付可能額の復興庁からの通知
6月5日(火)		○住宅宅地再建支援制度（東部地域） の開始
6月6日(水)	<p>○末松義規復興副大臣との意見交換【宮城県市議会議長会】</p> <p>仙台市議会（議長応接室）において、佐藤正昭議長（宮城県市議会議長会会長）、木村勝好副議長が、宮城県内の市議会議長等とともに、末松義規復興副大臣と面談し、震災からの復旧・復興に関する意見交換を行う。</p> 	
6月7日(木) ～22日(金)	<p>○平成24年第2回定例会 提出議案等24件／可決22件</p>	

月 日	仙台市議会としての動き	仙台市当局及び国等の動き
6月8日(金)	<p>○郡和子復興大臣政務官との意見交換【仙台市議会】</p> <p>復興庁宮城復興局（仙台市）において、佐藤正昭議長、木村勝好副議長が、各派代表者とともに、郡和子復興大臣政務官と面談し、復興事業等に関する意見交換を行う。</p> 	
6月12日(火)		○民間投資促進特区（情報サービス関連産業）の国からの認定
6月15日(金)		○防災集団移転促進事業計画（東部地域）の国土交通大臣からの同意
6月22日(金)	<p>○意見書「東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に向けた支援拡充を求める件」（資料編72ページ参照）を可決 （内閣総理大臣等あて）</p> <p>○意見書「後期高齢者医療制度等の減免対象期間の延長を求める件」（資料編73ページ参照）を可決 （内閣総理大臣等あて）</p>	
6月26日(火)		○復興交付金事業計画（第3次）を復興庁に提出
8月20日(月)、 22日(水)	<p>○東日本大震災復興会議</p> <p>①当局からの報告及び質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の先行対応事項について 	
8月24日(金)		○復興交付金事業計画（第3次）の交付可能額の復興庁からの通知